

Animal Behaviour and Management 投稿規程

1. 掲載論文

- 1) 投稿論文は、ヒトと係わる動物である産業動物（家畜）、伴侶（愛玩）動物、実験動物、展示動物、野生動物の行動と管理に関する基礎的・応用的研究で、家畜管理学および応用動物行動学上価値ある内容を持ち、本投稿規程に従ったものでなければならない。また、他誌に未発表のものに限る。
- 2) Animal Behaviour and Management (ABM) に掲載する論文は、原著論文（一般論文、短報）、総説、解説、資料、シンポジウム報告、講演要旨とする。
- 3) 原著論文（一般論文、短報）は、独創的な研究・調査に基づく学術的な知見を含むものとする。一般論文は、実施の目的、方法、データ解析、結果、考察が適切であると判断されるものとする。短報は、一般論文としてはまとめ得ないが、方法や結果などに価値ある内容を含むもので、原則として図表などを含めて刷り上がり2 ページ以内とする。資料では、技術開発および普及、観察データに関する内容についても扱うものとし、独創性・学術性は問わないが、前述したヒトと係わる動物の研究・調査および飼育・管理に従事する者に対して有益な情報を提供するものとする。

2. 投稿論文の作成方法

- 1) 投稿論文は、和文または英文とする。
- 2) 投稿論文の原稿作成にあたっては、「Animal Behaviour and Managementのための論文投稿の手引き」に従うものとする。なおこの論文投稿の手引きは、日本家畜管理学会のホームページ (<http://www.jslm-org.com/>) または応用動物行動学会のホームページ (<http://www.jsaab.org/>) からダウンロードすることができる。
- 3) 投稿論文は、電子メールで添付ファイルとして編集委員会宛て送信する。原稿は、原則、MS Word およびExcel 形式とする。原稿には、必要事項を記入した原稿投稿用紙を添付する。原稿投稿用紙は、上記の日本家畜管理学会ホームページまたは応用動物行動学会ホームページからダウンロードすることができる。

3. 投稿論文の審査および掲載方法

- 1) 投稿者は、日本家畜管理学会会員もしくは応用動物行動学会会員に限る。ただし、共著者には会員以外の者を含むことができる。
- 2) 論文の採否は、編集委員会が依頼する論文審査員（原則2 名）の審査を受けた後、編集委員会が決定する。したがって、編集委員会は原稿を返却したり、訂正を求めたりする場合がある。なお、動物に不必要な苦痛を与えるなど、倫理に反すると判断した場合は、掲載を拒否することがある。
- 3) 審査が終了した時点で、受理論文については、最終原稿を電子メールで添付ファイルとして編集委員会宛て送信する。この段階での加筆、訂正は認めない。
- 4) 論文の掲載は、原則として審査終了（受理）順とする。
- 5) 著者校正是1回とする。校正結果は、電子メールもしくはFax にて、指定された期日までに編集委員会宛て返信する。
- 6) 本誌に掲載された論文の著作権は、日本家畜管理学会および応用動物行動学会に属する。
- 7) 別刷が必要な場合には、その分についての実費は著者負担とする。

昭和62年4月3日一部改正

平成6年3月31日一部改正

平成21年3月28日全面改定

平成3年10月30日一部改正

平成8年3月30日一部改正

平成23年3月28日一部改正

平成5年4月21日一部改正

平成10年3月29日一部改正

平成24年3月30日一部改正

Animal Behaviour and Management 編集委員会

<投稿受付・審査担当>

安江 健（応用動物行動学会）

〒300-0393

茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1 茨城大学農学部生物生産科学科

Tel & Fax: 029-888-8576

Email: tyasue@mx.ibaraki.ac.jp

<著者校正対応・編集担当>

青山真人（日本家畜管理学会）

〒321-8505

宇都宮市峰町350 宇都宮大学農学部

Tel: 028-649-5438 Fax: 028-649-5401

Email: aoyamam@cc.utsunomiya-u.ac.jp